

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する東京電力ホールディングス株式会社等との面談

2. 日時：令和5年11月2日（木）13：30～17：15

3. 場所：株式会社テプコシステムズ 11階会議室（オンライン参加者を含む）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 村上企画調査官、平野主任検査監視官、
沼田検査監視官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 星上席技術研究調査官、
小城副主任技術研究調査官

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 原子炉安全技術グループ 課長 他1名

株式会社テプコシステムズ

原子力エンジニアリング事業部 原子力安全評価技術部 部長 他4名

東北電力株式会社 原子力本部 原子力部（原子力技術） 主査 他2名

株式会社トイックス

開発運用本部 システム開発1部 システム開発推進課 主任 他2名

中部電力株式会社 原子力部 安全技術グループ 主任

株式会社中電シーティーアイ 原子力ソリューション部 PRAグループ

専門係長

北陸電力株式会社 原子力本部 原子力部 原子力安全設計チーム

副課長 他1名

中国電力株式会社 電源事業本部（原子力安全） 担当

電源開発株式会社 原子力技術部 炉心・安全室 担当

株式会社 J-POWER ビジネスサービス 火力・原子力部 解析グループ 担当

日本原子力発電株式会社 発電管理室 技術・安全グループ 課長

原電エンジニアリング株式会社 IT・解析部 PRAグループ

リーダー 他2名

東芝エネルギーシステムズ株式会社 原子力安全システム設計部

エキスパート

電力中央研究所 原子力リスク研究センター 研究アドバイザー

5. 要旨

- (1) 令和5年7月31日の面談に引き続き、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）は、配布資料（1）に基づき、柏崎刈羽原子力発電所7号機のレベル1.5PRAモデルに関する原子力規制庁からの質問に対する回答について説明を行った。また、東京電力は、レベル1.5PRAモデルにおける格納容器ベント及び代替循環冷却系のフォールトツリ一展開の考え方について説明を行った。
- (2) 原子力規制庁は、東京電力が作成したレベル1.5PRAモデルの適切性を確認していく上で、同社による詳細な説明を要するものについては引き続き面談で確認していくこととした。

6. 配布資料

- (1) 事業者PRAモデル（柏崎刈羽原子力発電所7号機）の事前確認項目（原子力規制庁資料）
[000437448.pdf \(nra.go.jp\)](https://www.nra.go.jp/000437448.pdf)